

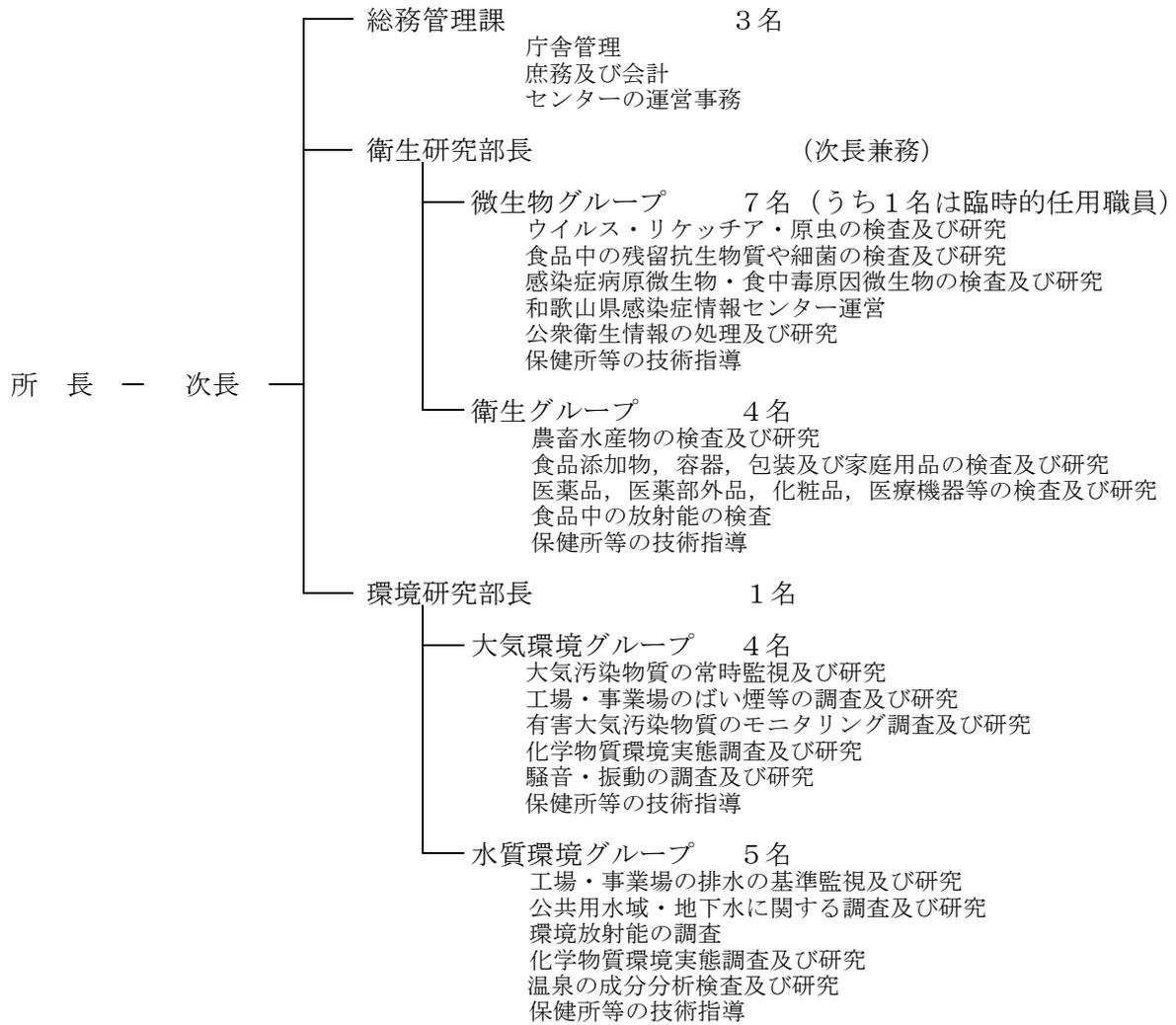
1 沿 革

| | |
|----------|--|
| 明治13年 4月 | 県警察本署（現警察本部）に衛生課が設置され、和歌山市西汀丁の県庁内に化学を主とする衛生試験所を設置、業務開始。 |
| 明治36年 1月 | 衛生試験所（木造平屋建12坪）を建築。 |
| 明治36年 3月 | 細菌検査室（木造平屋建36坪）、動物飼育室（木造平屋建 8坪）を建築。 |
| 昭和13年 8月 | 和歌山市小松原通一丁目 1番地（現県庁）に、衛生試験所（木造平屋建135坪）を新築し西汀丁より移転。 |
| 昭和14年 1月 | 動物舎（木造平屋建 9坪）を併設。 |
| 昭和17年11月 | 官制改正により内政部に移管。 |
| 昭和20年 7月 | 戦災による施設全焼のため化学試験室は県工業指導所に、細菌検査室は住友病院内において急場の業務をとる。 |
| 昭和21年 2月 | 教育民政部に移管。 |
| 昭和22年10月 | 県庁構内に衛生試験所（木造平屋建162坪）を建築。 |
| 昭和23年 1月 | 衛生部創設により細菌検査室は予防課に、化学試験室は薬務課に、乳肉栄養検査室は公衆衛生課にそれぞれ移管。 |
| 昭和23年 7月 | 動物舎（木造平屋建 9坪）竣工。 |
| 昭和24年 5月 | 衛生試験所（木造平屋建70坪）を増築。 |
| 昭和25年 9月 | 県衛生試験所設置規則により全施設を総合して、県衛生研究所として発足。 |
| 昭和40年 6月 | 和歌山市美園町五丁目25番地へ一時移転。 |
| 昭和41年10月 | 東和歌山駅拡大建設に伴い和歌山市徒町 1番地に総務課及び化学部、細菌部の内ウイルス室は市内友田町三丁目21番地の和歌山市医師会成人病センターに、細菌室は友田町三丁目 1番地の和歌山市中央保健所に、それぞれ移転。 |
| 昭和41年12月 | 和歌山県衛生研究所設置規則を改正し、総務課を庶務係、経理係に、細菌部を微生物部として、細菌室、ウイルス室、疫学室に、化学部を理化学部として、化学室、食品室、薬品室に分け、公害部を新設し、水質室、大気室、環境室を設置。 |
| 昭和42年 8月 | 和歌山県立高等看護学院の庁舎新築移転により、和歌山市医師会成人病センターの微生物部ウイルス室及び和歌山市中央保健所の微生物部細菌室を、それぞれ和歌山市徒町 1番地旧県立高等看護学院に移転。 |
| 昭和44年 2月 | 和歌山市湊東の坪271の 2番地に県衛生研究所（鉄筋 3階建延1,198.55m ² ）が竣工し移転。 |
| 昭和45年12月 | 衛生研究所公害部が独立して、公害研究所を設置。 |
| 昭和46年 2月 | 公害研究所に県公害対策室直轄の大気汚染常時監視設備を設置。 |
| 昭和46年 4月 | 県衛生研究所設置規則を改正して、理化学部を食品薬化学部とし、食品室、薬品化学室を、又生活環境部を設置して、環境室、病理室を設置。 |
| 昭和47年 1月 | 大気汚染常時監視設備が県企画部生活環境局公害対策室の直轄となる。 |
| 昭和47年11月 | 公害研究所を廃止して、県公害技術センターを設置。庶務課、大気部、水質部及び騒音振動部に、併せて公害対策室から大気汚染常時監視設備とその業務を引継ぎ、和歌山市湊東の坪271の 3番地に竣工した新庁舎に移転。 |
| 昭和50年 7月 | 公害技術センターの大気部の一部と騒音振動部を監視騒音部に改組。 |
| 昭和51年 1月 | 住居表示変更により、衛生研究所は、和歌山市砂山南三丁目 3番47号。公害技術センターは、和歌山市砂山南三丁目 3番45号となる。 |
| 昭和53年 7月 | 公害行政の一元化に伴い産業廃棄物関連の調査研究業務は、公害技術センター水質部の業務となる。 |
| 昭和57年 6月 | 公害技術センターは、県民局から衛生部に移管。 |
| 昭和58年 4月 | 御坊市菌字円津255番地の 4に御坊監視支所を開設。 |
| 昭和58年 6月 | 機構改革により衛生研究所と公害技術センターを統合、衛生公害研究センターとなり、総務課、保健情報部、微生物部、生活理化学部、大気環境部、水質環境部及び御坊監視支所を置く。 |
| 昭和62年 4月 | 保健環境部に移管。 |
| 平成 2年 1月 | 御坊監視支所を無人化とする。 |
| 平成 8年 4月 | 生活文化部に移管。 |
| 平成12年 4月 | 環境生活部に移管。 |
| 平成15年 4月 | 衛生公害研究センターの名称を環境衛生研究センターに改め、総務管理課、衛生研究部、環境研究部及び御坊監視所を置く。衛生研究部に疫学グループ、微生物グループ、衛生グループを、環境研究部に大気環境グループ、水質環境グループを置く。 |
| 平成18年 4月 | 微生物グループに疫学グループを統合し、衛生研究部を 2グループとする。 |
| 平成23年 1月 | 西館耐震工事实施、太陽光パネル設置。 |
| 平成27年 3月 | 御坊監視支所を廃止。 |

2 組 織

(1) 機構と事務分掌

R3. 4. 1現在



(2) 職員構成

R3. 4. 1 現在

| 採用区分 | 事務 | 獣医師 | 薬剤師 | 環境技師 | 臨床技師 | その他 | 計 |
|-----------|----|-----|-----|------|------|-----|-----|
| 所 長 | | | | | | 1 | 1 |
| 次 長 | | 1 | | | | | 1 |
| 研 究 部 長 | | | | 1 | | | 1 |
| 総 務 管 理 課 | 3 | | | | | | 3 |
| 微生物グループ | | 3 | 2 | 1 | 1 | | 7 |
| 衛生グループ | | | 1 | 3 | | | 4 |
| 大気環境グループ | | | 1 | 3 | | | 4 |
| 水質環境グループ | | | 1 | 4 | | | 5 |
| 計 | 3 | 4 | 5 | 1 2 | 1 | 1 | 2 6 |

3 事業費・施設等

(1) 事業費等 (R2)

| 事業名 | 決算額(千円) |
|----------------|---------|
| 環境衛生研究センター運営事業 | 13,718 |
| センター機器整備事業 | 36,814 |
| 試験検査事業 | 1,289 |
| 健康と環境を守る調査研究事業 | 2,447 |
| 環境放射能水準調査事業 | 8,742 |
| 化学物質環境実態調査事業 | 2,661 |
| 行政依頼分等 | 116,887 |
| 計 | 182,558 |

(2) 依頼検査収入 (R2)

| 項目 | 件数(件) | 金額(円) |
|-----------------|-------|---------|
| 温泉試験 | 3 | 113,940 |
| 水質試験 | 0 | 0 |
| 食品・添加物・容器及び包装試験 | 110 | 337,590 |
| 計 | 113 | 451,530 |

(3) 施設

- a) 土地 所在地 和歌山市砂山南三丁目3番45号
面積 1,993.08㎡
- b) 主な建物
- 東館(本館)
 - 構造 鉄筋コンクリート造 3階建 屋上一部4階
 - 建築面積 440.48㎡
 - 延面積 1,352.53㎡
 - 附帯設備 電気, 都市ガス, 給排水, 空調
 - 竣工 昭和47年10月
 - 総工費 91,782千円
 - 排水処理棟
 - 構造 コンクリートブロック造 平屋建 地下水槽
 - 建築面積 31.40㎡
 - 水槽容量 40kℓ, 10kℓ 各1
 - 附帯設備 電気, 給排水
 - 竣工 昭和50年11月
 - 総工費 19,900千円
 - 車庫
 - 構造 鉄骨造 平屋造
 - 建築面積 45.0㎡
 - 竣工 昭和53年7月
 - 総工費 1,859千円
 - 試料調整棟・図書室
 - 構造 コンクリートブロック造 2階建
 - 延面積 59.68㎡
 - 竣工 昭和56年3月
 - 総工費 3,622千円
 - 西館
 - 構造 鉄筋コンクリート造 3階建
 - 建築面積 373.54㎡
 - 延面積 1,198.55㎡
 - 附帯設備 電気, 都市ガス, 給排水, 空調
 - 竣工 昭和44年1月
 - 総工費 57,600千円